

【令和4年度】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証一覧表

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	A					実施内容	成果 (可能な限り定量的な数値で表示)	効果・検証
					総事業費 (千円)	B 国庫補助額 (千円)	C コロナ 交付金 (千円)	D その他 (千円)	E 一般財源 (千円)			
合計					201,204	0	201,200	0	4			
1	今帰仁村新型コロナウイルス感染症 拡大防止緊急支援事業	①新型コロナウイルス感染症に罹患し、外出制限を余儀なくされる世帯（自宅療養者世帯）に対して食料品及び衛生用品等を無償供与する。 ②自宅療養者世帯に対する食料品及び衛生用品等の購入費、それに伴う事務費 ③新型コロナウイルス感染症に罹患し、外出制限を余儀なくされる世帯（自宅療養者世帯）	R4.4	R5.3	9,237		9,236	-	1	新型コロナウイルス感染症に罹患し、外出制限を余儀なくされる世帯に対して、食料品及び衛生用品等を無償供与することにより、生活の安定及び感染症拡大の防止に寄与することを目的として、事業を実施した。	686世帯2,437名に対して提供を行った。	食料品及び衛生用品等を無償供与することにより、外出を抑制し、感染拡大を防ぐことができた。
2	今帰仁村立保育所等情報システム 導入事業	①公立保育所等における保育士の業務をICT化するためのパソコン等の購入、ネットワーク工事費用。会議や研修時の密を避けるためリモートが可能な環境を整備し、コロナ禍における在宅勤務を可能とする体制を整える。 また、保護者との連絡機能を有する、新型コロナウイルス拡大防止のための迅速な連絡体制の構築や、登園自粛に伴う園児の健康管理の効率化を図る。 ②パソコン購入費用及びネットワーク構築費用 ③村内公立保育園等 2園	R4.10	R5.3	6,490		6,490	-	0	・業務のICT化を行うためのシステムを導入 ・パソコンの購入	・システムの構築：一式 ・ノートパソコン：12台	業務のICT化によりネットワーク環境を整備をしたことでリモートワークが可能となり、コロナ禍における在宅勤務の体制が整えられた。また、保護者との連絡においても迅速な連絡体制の構築が図られたことで感染症リスクの低減に繋がった。
3	今帰仁村立保育所電解水生成装置 設置事業	①公立保育所における新型コロナウイルス感染症対策として電解水生成装置を設置し、次亜塩素酸水を消毒・除菌の目的で使用する。 また、空気清浄機能付きの空調機を設置し換気のための空調機を整備する事で、より安心・安全な環境を確保し感染リスクの軽減を図る。 ②電解水生成装置及び空調機の設置費用 ③今帰仁保育所	R4.9	R5.2	3,236		3,236	-	0	電解水生成装置を1台設置 空調機器を3箇所整備	園内でのクラスター発生件数：0件	感染症対策として電解水生成措置及び空調機器を整備したことで園内での感染リスクを低減させることができた。
4	今帰仁村総合運動公園原油価格高騰 対策支援事業	①コロナ禍における原油価格高騰により、今帰仁村総合運動公園の施設の維持管理に係る経費が、圧迫され閉鎖する状況になったが村内に1箇所しかない運動公園施設である為、常に多くの施設利用者がいることで通常業務を遂行した結果、経営はより厳しい状況にあることから、支援金を交付する。 ②施設管理に対する燃料費高騰分を支援。 ③特定非営利活動法人ナスク	R4.4	R5.3	1,140		1,140		0	今帰仁村総合運動公園の施設管理における燃料費高騰分を支援した。	令和2年度利用者数：34,332人 令和4年度利用者数：72,118人 対前々年比：210%増	原油価格の高騰により影響を受けている指定管理者へ支援することで、負担の軽減が図られ安心して利用ができる施設として継続できた。
5	今帰仁村総合運動公園機能整備事 業	① 新型コロナウイルス感染症の拡大により、村民が広く活用する公共施設の利用が低下しているため、利用者与管理者の安心・安全な環境を確保するため、空気清浄機能付きの空調機器を整備することで利用の増加を図る。また、コロナ後の村民のフレイル対策としても健康増進施設の提供を目的とする。 ②空調機器の整備 ・今帰仁村総合運動公園内 ③村運動公園施設利用者	R4.10	R5.3	3,372		3,371		1	今帰仁村民体育館及び村民プール施設内における空調機器の整備	令和2年度利用者数：34,332人 令和4年度利用者数：72,118人 対前々年比：210%増	今帰仁村総合運動公園施設内の空調機器の整備ができたことで安心・安全な環境が確保され感染拡大の防止を図ることができた。
6	今帰仁村議会コロナウイルス感染防 止事業	①現在、個別訪問による議会資料、各種研修資料等の配布や、対面方式で行っている各種調整会議等を、タブレット端末の導入及び関連システムの構築を行うことで、接触機会の低減を図り、コロナウイルス感染拡大防止につなげる。 ② 機器の購入 システム構築費用 ③今帰仁村議会議員	R4.10	R5.3	13,217		13,216		1	・システムの構築 ・タブレット端末の購入	タブレット端末設置数：12台	1人1台の端末環境を整備したことで、業務の効率化が図られ、会議など接触機会が減少したことで感染拡大防止にも繋がった。
7	今帰仁村歴史文化センター空調設備 管理事業	①コロナの感染拡大防止のため、空気清浄機能付きの空調設備にすることで感染防止対策を今以上に徹底し、施設の観覧を安心・安全にすることが可能となることで、コロナで落ち込んだ施設利用者の増加を図る。 ②空調設備工事費 ③今帰仁村歴史文化センター	R4.10	R4.12	2,640		2,640		0	今帰仁村歴史文化センター施設内における、空調機の整備	令和2年度施設利用者数：28,876人 令和4年度施設利用者数：80,269人 対前々年比：277%増	今帰仁村歴史文化センター施設内の空調機器の整備ができたことで安心・安全な環境が確保され感染拡大の防止を図ることができた。
8	今帰仁村子育て世帯支援事業（物 価高騰分）	事業概要（No.8, No.17同事業） ①コロナ禍において、物価高騰の影響を受けている子育て世帯（課税世帯）に対し負担軽減を図るため支援する。 ②役員費 扶助費等 ③村民（課税世帯の子供）	R4.10	R5.3	41,323		41,323		0	子育て世帯（課税世帯）の支援として、子ども1人当たり50,000円の給付	給付世帯数：1,055人	物価高騰の影響を受けている子育て世帯に、給付金を支援できたことで経済的負担の軽減が図られ安定した生活に繋がった。
9	今帰仁村肉用牛飼料購入支援事業	①コロナ禍での物価高騰により、畜産（繁殖牛）における飼料代が上昇している為、畜産農家に対し支援を実施する。 ②飼料購入補助 ③今帰仁村内畜産農家（繁殖牛）	R4.11	R5.2	4,063		4,063		0	畜産農家への支援として資料購入費の補助	令和4年度畜産離農者数：0人	物価高騰に伴い、飼料代が値上がりしているなか資料購入の補助をおこなった事で、畜産農家の負担軽減が図られ継続的な畜産に繋がった。
10	今帰仁村封入封かん機導入感染対 策事業	①コロナ禍において、庁舎内での封入封かん業務をおこなう際に、大人数で行っていた業務を少人数で、かつ短時間で行うことで感染リスクの軽減を図る。 ②封入封かん機の購入1台 ③村役場業務	R4.10	R5.2	4,895		4,895		0	・封入封かん機の購入	庁舎内でのクラスター発生件数：0件	封入封かんの業務において、大人数でおこなっていた作業を1人での作業が可能となり、業務の効率化が図られ感染拡大防止にも繋がった。

11	今帰仁村新型コロナウイルス感染症拡大防止事業	①コロナ禍における、庁舎内を出入りする住民及び職員の感染症予防対策を図るため、消毒液等の消耗品を購入し、庁舎内でのクラスターゼロを目指す。 ②消毒液、ペーパータオル、足踏み式消毒スタンド、非接触式検知器、医療用抗原定性検査キット ③役場庁舎等	R4.10	R5.3	1,210		1,210		0	庁舎内の感染対策に係る、消耗品及び備品の購入	庁舎内でのクラスター発生件数：0件	新型コロナウイルス感染症対策を徹底したことで、庁舎施設での安心・安全の確保が図られ感染拡大防止にも繋がった。
12	今帰仁村新型コロナウイルス感染症拡大防止事務機器等整備事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る観点から、抗ウイルスに対する効果が証明されている事務用家具及びウイルス抑制・除菌用UV照射器を整備し、感染防止、クラスター防止に取り組む。 ②事務用家具購入（椅子）、照射器の整備 ③役場来庁者、庁舎内に勤務する職員	R4.10	R5.2	26,767		26,767		0	庁舎内の感染対策における備品の購入 ・新型コロナウイルス抑制用紫外線照射器 ・新型コロナウイルス抑制用UV-LED光触媒装置 ・事務用品（コロナ対策椅子）	庁舎内でのクラスター発生件数：0件	新型コロナウイルス感染症対策を徹底したことで、庁舎施設での安心・安全の確保が図られ感染拡大防止にも繋がった。
13	今帰仁村立学校ICT化促進備品整備事業（ICT機器）	①新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、臨時休校等の期間中も切れ目ない学習環境を提供する環境整備及び、校外学習等も思うように実施できない中でも、ICT機器を利用し間接的に体験できる環境の整備を行い、学びの機会を保障できるよう取り組む。 ②消耗品費、備品購入費 ③今帰仁村立小中学校	R4.10	R5.3	3,256		3,256		0	・オンライン授業機器の導入 ・ライブ配信機器の導入 ・体育館Wi-Fi-FILTERの導入	導入校：3小学校、1中学校  ・オンライン授業機器 一式 ・ライブ配信機器の導入 一式 ・体育館Wi-Fi-FILTERの導入 一式	機器の導入により、臨時休校等の期間中も切れ目ない学習環境を確保できた。また、校外学習等が思うように実施できない中でも、機器を利用し間接的に体験できるようになり、村内児童生徒の学びの機会を確保する基盤が構築された。
14	今帰仁村立学校空調設備整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策のため、授業中マスクを着用しているが、一部空調設備がない教室でも同様にマスクを着用している。換気のため窓を開けて授業を行っているが、とても気温が高く、マスクを付けた状態では、熱中症の恐れがありとても危険な状態である。そのため空気清浄機能付きの空調設備を設置することで、新型コロナウイルス感染症対策を図り安全な教育環境を確保する。 ②工事請負費 ③今帰仁村立小中学校	R4.10	R5.3	11,489		11,489		0	・空調設備の導入	設置（小学校：2校、中学校：1校） クラスター発生件数：0件 熱中症患者：0人	空調設備の導入により、感染症対策でマスクを付けて状態でも熱中症の恐れが軽減され、室内を換気しつつ熱中症対策を行えるようになり、村内児童生徒の安全な教育環境が確保された。
15	本部町今帰仁村消防組合感染対策事業	①新型コロナウイルス感染症の感染者に対応する際、救急隊員の感染リスク軽減を目的に感染防止衣を整備する。 ②感染防止衣の購入 ③補助金 ④本部町今帰仁村消防組合本部	R4.10	R5.3	1,359		1,359		0	・消防組合への負担金補助金	リユース型感染防護衣：（90着） ディスボーズ型感染防護衣（上：530着、下：200着）	新型コロナに感染した要救助者への対応が求められるなか、必要な機材を整備したことで、救急現場での感染リスクの低減が図られた。
16	今帰仁村大学生等新型コロナウイルス対策支援給付金事業	①コロナ禍において、行動制限の影響などにより、バイト日数の減少により生活費が減少し、オンライン授業等に対応する為の準備に費用を要した大学生、専門学生等に対して支援を行う。 ②報酬 共済 扶助費等 ③19歳～22歳までの村内出身の大学生、専門学生等	R4.10	R5.3	8,490		8,490		0	本村に住所を有している保護者に扶養され、今帰仁村内の小学校、又は中学校を卒業した大学生等に対して1人当たり5万円の給付を行った。	申請期間：R4.11.1～R5.2.28 給付者：169名	新型コロナウイルス感染症の長引く影響により経済活動が低迷し、アルバイト収入等の減によって修学に不安を抱えている大学生等に対して、経済的な負担軽減と大学生等の修学継続を支援する事ができた。
17	今帰仁村子育て世帯支援事業（通常分）	事業概要（No.8, No.17同事業） ①コロナ禍において、物価高騰の影響を受けている子育て世帯（課税世帯）に対し負担軽減を図るため支援する。 ②役員費 扶助費等 ③村民（課税世帯の子供）	R4.10	R5.3	13,012		13,011		1	子育て世帯（課税世帯）の支援として、子ども1人当たり50,000円の給付	給付世帯数：1,055人	物価高騰の影響を受けている子育て世帯に、給付金を支援できたことで経済的負担の軽減が図られ安定した生活に繋がった。
18	今帰仁村消費下支え生活者支援事業（重点交付金分）（R4予算分）	事業概要（No.18, No.19同事業） ①コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている各世帯へ生活者支援対策として、1万円分のE dyギフトカードを配布する。 ②役員費、扶助費等 ③村内（全世帯）	R4.12	R5.3	42,940		42,940		0	村内の各世帯へ、1万円分のE dyギフトカードを給付	村内全世帯：4,512世帯 配布件数：4407枚 カード配布率：97.7%	物価高騰に伴い、消費下支え生活者支援としてE dyカードを配布したことで、各世帯の負担を低減する事ができた。また、住民のキャッシュレス化が図られ感染拡大の防止にも繋がった。
19	今帰仁村消費下支え生活者支援事業（物価高騰分）（R4予算分）	事業概要（No.18, No.19同事業） ①コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている各世帯へ生活者支援対策として、1万円分のE dyギフトカードを配布する。 ②役員費、扶助費等 ③村内（全世帯）	R4.12	R5.3	3,068		3,068		0	村内の各世帯へ、1万円分のE dyギフトカードを給付	村内全世帯：4,512世帯 配布件数：4407枚 カード配布率：97.7%	物価高騰に伴い、消費下支え生活者支援としてE dyカードを配布したことで、各世帯の負担を低減する事ができた。また、住民のキャッシュレス化が図られ感染拡大の防止にも繋がった。